

改定蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略実施状況一覧

資料6

基本目標Ⅰ 安全で安心して暮らせるまち (1) ほっとわらび! 安全安心プロジェクト

数値目標	指標	現状値 平成29年度	令和2年度	令和3年度	実績値 令和4年度	令和5年度	目標値 令和6年度	担当課	
		家庭等における災害への備え実施率（市民意識調査）	81.0%	81.7%	78.6%			90%	安全安心推進課
①自助・共助・公助の連携を高めた防災都市づくり	指標	現状値 平成29年	令和2年	令和3年	実績値 令和4年	令和5年	目標値 令和6年	担当課	
	犯罪発生件数	871件	692件	535件			平成29年から10%削減	安全安心推進課	
②犯罪のない明るい地域づくり	K P I	指標	現状値 平成29年度	令和2年度	令和3年度	実績値 令和4年度	令和5年度	目標値 令和6年度	担当課
		避難所運営訓練の実施校の割合	40.0%	60.0%	60.0%			100%	安全安心推進課
	事業名		取り組み内容						担当課
	具体的事業	自主防災組織への支援と災害応急対策の強化	避難所運営協議会を設置済みの中央小学校に加え、各小中学校へ同協議会の設置を拡充するため、令和4年5月に自主防災会への説明会を実施した上で、協議会設置に向けて取り組みを推進する。						安全安心推進課
		上下水道の耐震化と長寿命化促進	(水道) 管路更新計画（平成29年度改訂版 平成30年3月策定）に基づき、管路に係る耐震化等の工事を計画的に進めている。令和3年度は820mの管路耐震化を実施した結果、基幹管路の耐震適合率は令和3年度末時点で96.2%に上昇した。 (下水道) 下水道管路長寿命化基本計画（平成28年度策定）に基づき、令和元年度から第1期分の改築工事に着手し、令和4年度に完了予定。第2期分は、令和3年度に実施設計を行い、令和4年度から改築工事に着手						下水道課 水道部維持管理課
		防災拠点となる新庁舎の整備	令和2年4月に新庁舎建設基本設計、令和3年2月に実施設計概要を策定、令和3年7月から新庁舎建設工事に着手し、令和5年秋に新庁舎供用開始予定。なお、旧庁舎については令和2年10月に仮設庁舎等への移転が完了し、12月に旧庁舎解体工事に着手、令和3年6月に解体工事を完了した。						庁舎建設室
小中学校への災害時用応急給水栓の設置		令和2年度に北小学校、第一中学校に災害時用応急給水栓を設置（令和元年度分と合わせて計6箇所に設置済み）						水道部維持管理課	
K P I	指標	現状値 平成29年度	令和2年度	令和3年度	実績値 令和4年度	令和5年度	目標値 令和6年度	担当課	
	自主防犯組織を含む防犯ボランティア団体数	47団体	47団体	47団体			52団体	安全安心推進課	
事業名		取り組み内容						担当課	
具体的事業	第3期防犯計画の着実な推進	市内全域にある140台の防犯カメラについて、警察等に対して映像提供を行うなど犯罪被害防止や犯罪抑止力の向上に努めた。また、振り込め詐欺防止のため、65歳以上の高齢者を対象に通話録音装置の無償貸与事業を実施していたが、令和3年度からは、市内在住の65歳以上の高齢者世帯を対象に通話録音機能付き電話機の購入費用に対して、2万円を上限として、補助金を交付する事業を実施し、19世帯からの申し込みがあった。						安全安心推進課	

基本目標Ⅱ 豊かな個性を育み子どもたちの未来輝くまち (2) キラリわらび! 子ども未来プロジェクト

数値目標	指標	現状値	実績値			目標値	担当課		
		平成29年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度	
数値目標	出生数	569人	567人	508人		650人	市民課		
	指標	現状値	実績値			目標値	担当課		
	保育園待機児童数	10人 (各年4月1日現在)	2人	0人		0人	児童福祉課		
①切れ目のない支援による子育てしやすいまちづくり	K P I	指標	現状値	実績値			目標値	担当課	
		子育てしやすいと思う市民の割合(市民意識調査) ※()内は、18歳未満の子どもがいる方の回答	平成29年度 (71.4%)	令和2年度 (81.5%)	令和3年度 (75.5%)		令和4年度	令和5年度	令和6年度
	具体的事業	事業名	取り組み内容					担当課	
		子育てしたいまち情報発信事業	令和2年秋に子育てしたいまち情報冊子を5,000部増刷(2年分。前回分から内容更新)。市内公共施設に配架したほか、宅建協会南彩支部(50社以上)に定期的に配架依頼をしている。					秘書広報課	
		子育て包括支援センター事業の充実	子育て世代包括支援センターを保健センター内に設置(令和元年6月)。妊娠届出時の面接等により、妊娠状況についての心配事などをアセスメントするとともに、継続的な支援が必要な場合、支援プランの作成を行った(令和3年度アセスメント対象者:657人、実施者:612人、支援プラン作成者:28人)。また、子育て期の様々な悩みや疑問に対する個別相談事業「子育て相談広場」を実施した。					保健センター	
		子ども家庭総合支援拠点の整備	令和3年4月、子ども家庭総合支援拠点を開設。					児童福祉課	
こども医療費無料化の拡大	令和4年10月診療分から、特に経済的負担の大きい入院について、医療費の一部負担金等の支給年齢を18歳までに拡大することで、子育てに伴う経済的な負担の更なる軽減を図る。令和3年度はそのためのシステム改修を実施。					児童福祉課			
②待機児童ゼロを目指した保育の充実	K P I	指標	現状値	実績値			目標値	担当課	
		認可保育園数	平成29年度 13園	令和2年度 14園	令和3年度 14園		令和4年度	令和5年度	令和6年度
	具体的事業	事業名	取り組み内容					担当課	
		保育園の更なる増設	令和2年4月に「蕨錦町ゆたか保育園」、令和4年4月に「わらび星の子保育園」を開設。					児童福祉課	
学童保育室の更なる増設	民間留守家庭児童指導室実施事業者を公募し、令和2年4月に「キッズクラブ塚越」、令和3年4月に「キッズクラブ北町」、令和4年4月に「キッズクラブ蕨」を開設。					児童福祉課			
③地域力を活かした「わらびっ子」の育成	K P I	指標	現状値	実績値			目標値	担当課	
		教育センターにおける教職員研修の実施回数	平成29年度 13回	令和2年度 80回	令和3年度 89回		令和4年度	令和5年度	令和6年度
	具体的事業	事業名	取り組み内容					担当課	
		教育センターの機能充実	令和2年度中に教育センターに学校と同じICT環境として、無線LAN、研修生用端末、指導者用端末、大型TV、プロジェクター等を整備。また、この他に市内小・中学校の教員へ優れた指導案や教材等を共有するための教材用ノートPCも併せて整備					学校教育課	
		コミュニティスクール事業の展開	令和元年度に塚越地区の東小学校・塚越小学校・東中学校の3校による学校運営協議会を発足し、PTAや学校応援団などの代表者らの参画を得ながら、学校運営・経営に取り組むコミュニティ・スクールの活動を推進している。令和3年度については、緊急事態宣言等の発出により9月~12月に協議会を開催することができなかったため、3回の開催となった。また、令和2年度から準備を進めていた児童・生徒の学校生活をサポートして下さる方々を登録するための人材バンクを作成した。					学校教育課	
		学校ICTの整備など学習環境の充実	令和2年度に、児童・生徒一人一台の端末整備を実施するとともに、全小・中学校において校内無線LAN工事を実施。授業等におけるタブレット端末の効果的な活用などを通じて児童・生徒のICT活用能力の向上を図った。					教育総務課 学校教育課	
学校体育館へのエアコン設置	令和3年度に中学校3校の設置工事を実施。令和4年度には、小学校2校の設置工事と、小学校2校の設計を実施予定。					教育総務課			
英語教育の充実	ALTの小中学校全校配置については令和2年4月に完了。また、中学校2、3年生を対象とした、英語4技能テスト、教員研修、GIGAスクール端末を活用した外国語学習等を組み合わせて行うGTECを令和3年度から公費負担で実施。					学校教育課			

基本目標Ⅲ みんなにあたたかく健康に生活できるまち (3) イキイキわらび! 健康密度日本プロジェクト

数値目標	指標		現状値	実績値			目標値	担当課
			平成29年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	健康に気配りしている市民(成人)の割合(市民意識調査)		81.2%	84.4%	83.3%		87%	保健センター
①協働による健康まちづくりの推進	K P I	指標	現状値	実績値			目標値	担当課
				平成29年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	健康長寿蕨市モデル事業参加者数		210人	506人	1443人		500人	保健センター
	事業名		取り組み内容					担当課
具体的事業	健康長寿蕨市モデル事業の推進		令和元年度に、ウォーキングイベントの実施とともに歩数計読み取り機(タブレット)を市内に8か所設置した。また、登録者を増やすため、令和3年11月にチラシの全戸配布を行った。これにより、令和2年度末時点では歩数計とスマートフォンの登録者合わせて506人であったが、令和3年度末時点では1,443人と大幅に増加した。さらに、埼玉県コバトン健康マイレージ登録者に対して1か月の間で1日平均8,000歩以上歩いた方に対する抽選会を令和4年1月に開催し、事業の周知と市民の健康づくりの定着を目指した。					保健センター
	介護予防事業の実施		令和3年度は、外出自粛によるフレイル予防のため、自宅でできる介護予防運動や、口腔機能・栄養・社会参加に着目したリーフレットを作成し、2か月に1回のペースで、いきいき百歳体操参加者を中心に配布した。住民運営の通いの場(いきいき百歳体操教室)の立ち上げと継続を支援(一部休止あり。介護予防サポーター養成講座修了者は累計192人、「いきいき百歳体操」活動グループは累計19団体)					介護保険室
②市立病院の充実と健康診査・検診の促進	K P I	指標	現状値	実績値			目標値	担当課
				平成29年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	特定健康診査の受診率		44.4%	40%	37%		60%	医療保険課
	事業名		取り組み内容					担当課
具体的事業	「市立病院将来構想」に基づく市立病院の充実・発展		医療体制の維持及び充実のため、令和2年度に消化器内科、整形外科それぞれ1名の常勤医師を採用した。また、施設整備の基本方針について、施設整備検討委員会を設置し検討を進めている。					市立病院事務局庶務課
	特定健康診査等の受診促進		受診率向上を目指して以下の取り組みを実施した。 ①効果的な広報啓発活動 ②受診勧奨通知の送付 ③SMSによる受診勧奨 ④早期受診キャンペーン ⑤本人や医療機関からの健診結果の提供 ⑥39歳の人への特定健診事前案内通知					医療保険課
③だれもが自分らしくイキイキと暮らし、活躍できる環境づくり	K P I	指標	現状値	実績値			目標値	担当課
				平成29年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	就労や地域等で活動しているシニアの割合(市民意識調査)		48.0%	59.0%	44.5%		55%	関係課
	事業名		取り組み内容					担当課
	具体的事業	だれもが安心して住み続けられる地域包括ケアシステムの構築		地域包括ケアシステムの構築の推進に向け、以下の取り組みを実施(令和2、3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部事業を縮小) ①在宅医療・介護連携に向けた、医療及び介護関係者の合同研修会、在宅医療講演会、医療・介護連携ネットワーク会議を継続実施 ②認知症地域支援推進員の選任、認知症サポーター養成講座の実施、認知症カフェを5か所運営、認知症初期集中支援チームの設置を継続実施(チーム実働は、令和元年度1件、令和2年度2件、令和3年度0件) ③生活支援体制整備を進める生活支援コーディネーターを選任。地域・福祉・ボランティア関係者による蕨市地域支え合い推進協議会や地域住民が地域課題を話し合う座談会、ボランティア活動について啓発する生活支援サポーター養成講座を継続実施(一部休止あり。生活支援サポーター養成講座修了者は累計69人) ④介護予防事業として、住民運営の通いの場(いきいき百歳体操教室)の立ち上げと継続を支援(一部休止あり。介護予防サポーター養成講座修了者は累計192人、「いきいき百歳体操」活動グループは累計19団体) ⑤ケアマネジャー及びサービス事業所による高齢者ケア向上を支援する自立支援型地域ケア会議を月1回実施				
障害者入所施設の広域的検討と暮らしの場確保策の検討		入所施設やグループホームの整備については、川口市・戸田市との3市障害福祉連絡会議にて情報・意見交換、各障害者団体との懇談を行い、国庫補助金の確保については、これまでに国及び埼玉県へ要望書を提出しており、令和3年度にも提出した。引き続きニーズの把握と様々な情報収集を行っていく。					福祉総務課	
手話言語条例の制定		蕨市聴覚障害者協会、蕨手話サークル及び蕨市手話通訳者派遣事務所とともに、令和元年度より手話言語条例制定準備会を計4回開催。条例制定に向けて準備を進め、令和3年3月23日に「蕨市手話言語条例」制定、令和3年4月1日に施行した。					福祉総務課	
シニアの社会参加と就労支援		蕨市シルバー人材センターに対して運営費等の補助を実施するなど高齢者の生きがいづくりの場の確保や就労支援等の促進を図った。なお、令和3年度の会員数は、目標400人に対して339人(前年比29人減)となった。また、就労希望者に対して、国や県等の就労関連情報の提供や相談窓口の案内を行った。					商工生活室 市民活動推進室 介護保険室 生涯学習スポーツ課	



基本目標Ⅳ にぎわいと活力、市民文化と歴史がとけあう元気なまち (4) ワクワクわらび! にぎわい創出プロジェクト

数値目標	指標		現状値		実績値			目標値	担当課
			平成29年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	中心市街地における休日の歩行者・自転車の通行量		38,627人	未実施	未実施			43,585人	商工生活室
① 蔵ブランドなどの地域資源の更なる活用・展開	K P I	指標	現状値 平成29年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標値 令和6年度	担当課
		蔵ブランド認定品の数	5件(累計)	10件(累計)	10件(累計)			15件(累計)	商工生活室
	事業名		取り組み内容						担当課
	具体的事業	蔵ブランドの更なる活用・展開	蔵ブランド認定品について、令和元年度に認定品の募集・審査を行い、5事業者5品を新たな蔵ブランドとして認定するとともに、既存の認定品についても更新し、蔵ブランド認定品は計10品となった。蔵ブランド認定品の認定期間は3年間であり、令和4年11月で認定期間が終了となることから、令和4年度は第三期ブランド品の認定を行う。また、令和3年度は、蔵市立東小学校の3年生が蔵市の特産品・名産品について調べる総合学習において、「どうしたら蔵ブランド認定品を沢山の人たちに知ってもらえるか」をテーマに、認定品事業者7社の協力の下で学習をした。学習のまとめとして、子供たちが蔵ブランド認定品を広めるアイデアを各事業者に提案し、発表会というかたちで業者に披露した。						商工生活室
		ホームページ等の活用による魅力発信とシティプロモーションの推進	だれもが利用しやすくまちの魅力を発信するホームページを目指して、リニューアルを実施。令和2年1月から運用開始。リニューアルに伴いスマホや多言語に対応したほか、トップページのカラーセルや特設ページではまちの魅力を発信。また、新型コロナウイルス関連情報などの特設ページを開設している。						秘書広報課 政策企画室
河鍋暁斎記念美術館と連携したまちづくりの推進		河鍋暁斎の更なる魅力発信を目的に、引き続き、広報紙やケーブルテレビで展覧会の内容を紹介したほか、令和2年6月に歴史民俗資料館内に河鍋暁斎コーナーを設置した。また、令和2年の新年あいさつ交歓会から河鍋暁斎の絵(十二支)が施された酒器を記念品として配布。令和3年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、あいさつ交歓会が中止となったため、酒器の販売を実施(192個販売)。令和4年はあいさつ交歓会開催時に参加者に酒器を配布。						秘書広報課 関係課	
② 蔵を元気に! 中心市街地の活性化	K P I	指標	現状値 平成29年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標値 令和6年度	担当課
		サブリース事業による出店、または空き店舗有効活用事業補助金を活用して出店した件数	※新規事業のため 現状値はありません	2件 (令和元年度からの累計)	2件 (令和元年度からの累計)			15件(累計)	商工生活室
	事業名		取り組み内容						担当課
	具体的事業	中心市街地活性化基本計画の着実な推進	計画に位置付けた全42事業のうち、31事業が実施済みまたは実施中であり、進捗率は約73%。蔵市にぎわいまちづくり連合会では、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた同連合会の支援による各種企画(知って得するワンポイントセミナー、つかごし朝マルシェ、柳橋公園活用事業等)は延期となったが、代わりに、WINKと連携してテレビ版「蔵周遊ツアー」の放映や、SNSによるテイクアウト店舗の紹介など情報発信に特化した事業を展開した。また、埼玉県物産観光協会と連携し、Go toトラベルの適用を受けて「蔵市にぎわいまちづくりツアー」を企画したが、延期となっている。なお、蔵市中心市街地活性化基本計画は、計画期間を一年延長したものの、同感染症の影響で各種事業が止まっていることから、令和3年度まで更に1年延長し、現行計画を推進するとともに、令和3年度は、前計画となる「蔵市中心市街地活性化基本計画」を引き継ぎつつ、より実効性が高く、まちの活性化に向けた課題解決を図るため、蔵商工会議所や蔵市にぎわいまちづくり連合会、蔵ブランド協会などと連携し、「日本一小さな市域における日本一の人口密度を有するコンパクトシティとしての都市活力の持続性確保を目指した中心市街地活性化」に向けて取り組む「中心市街地活性化プラン」を策定した。令和4年度は、令和3年度に策定した中心市街地活性化プランに基づき、関係機関と連携しながら各種事業を実施していく。						商工生活室
		蔵の玄関口にふさわしい蔵駅西口再開発の推進	これまで、事業計画の作成や組合設立に関する権利者の同意取得など、組合設立認可(事業認可)に向けた準備組合の活動に対し、必要な協議、支援を行い、令和2年8月に埼玉県から組合設立認可を受けた。今後も引き続き、権利変換計画認可及び工事着工に向けた組合の活動に対し、必要な協議、支援を行い、着実に事業を推進する。						まちづくり推進室
関係機関との連携による空き店舗対策の推進		埼玉県、蔵商工会議所、蔵市にぎわいまちづくり連合会と連携し、空き店舗ゼロプロジェクト事業に取り組み、サブリースにより、「WARABI SELECT SHOP」が令和元年10月にオープンしたほか、蔵市にぎわいまちづくり連合会と連携し、「貸店舗見学ツアー」の実施、空き店舗有効活用事業の認定店舗の拡大など、同制度の活用を促進する体制を整えた。令和2年度は、空き店舗有効活用事業を活用して、1件が開業し、出店数の累計は2件となった。令和4年度は、令和3年度に策定した中心市街地活性化プランに基づいて実施していくエリアリノベーション事業において、一般社団法人蔵ブランド協会が実施主体として、創業希望者の支援をはじめ、空き店舗のリノベーションや、貸店舗をためらうオーナーとの間に入り、サブリースの手法を用いて空き店舗対策を行うなど、エリアマネジメントに取り組んでいく。						商工生活室	
商店リニューアル助成制度の創設		既存店舗の設備更新の負担を減らすため、改装費等の一部を補助するとともに、店舗改装の際、専門家を派遣しアドバイス等を行うことで、にぎわいのある魅力的な店舗へのリニューアルを支援する「商店リニューアル助成制度」の創設に向け、蔵商工会議所と協議しながら検討を進めている。						商工生活室	

③人材を育て 活かす学びと スポーツの推 進	K P I	指標	実績値					目標値	担当課
			平成29年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
		市民音楽祭の参加者数	2,496人	112人	554人			4,000人	生涯学習スポーツ課
		事業名	取り組み内容					担当課	
	具 体 的 事 業	音楽によるまちづくりの推進	<p>蕨市民音楽祭については、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から動画配信等により3イベントを実施（令和元年度は13会場21イベント・参加者約4,300人）、令和3年度も同様に、動画配信や一部のイベントの開催時期を延期する等の措置を行い8イベントを実施。小・中学校への音楽家派遣については、令和2年度は5校7事業（令和元年度は9校9事業）令和3年度は6校8事業への派遣を行い、子どもたちが良質な音楽に触れ、音楽に親しむ機会を提供した。今後も、多くの方が参加できる多様な音楽イベントを開催していくとともに、公式SNS等を通じた情報発信を定期的に更新していくことで、より広く当事業を周知し、まちの賑わいを創出するよう努めていく。</p>					生涯学習スポーツ課 関係課	
オリンピック・パラリンピックへの気運醸成と生涯スポーツの浸透		<p>（オリンピック・パラリンピックへの気運醸成） ・オリンピック聖火リレーやパラリンピック聖火ピジットについては、令和3年に延期されるとともに、新型コロナ感染症の感染拡大に伴い規模を縮小したものの、大会組織委員会や埼玉県等との連携のもと予定どおり開催され、オリンピック・パラリンピックの気運醸成が図られた。</p> <p>（生涯スポーツの浸透） ・スポーツ施設の利用を充実させるため、公共スポーツ施設予約システムを導入しており、住んでいる地域に限らず屋外スポーツ施設や市民体育館を簡単に予約し、利用ができるよう環境を整えている。また、令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催が中止となったが、例年は市民水泳大会やロードレース大会などの地域に根付いたスポーツイベントを開催し、市民がスポーツに参加する機会を設けている。</p>					政策企画室 生涯学習スポーツ課		

基本目標Ⅴ 快適で過ごしやすい環境にやさしいまち (5) 住マイルわらび!暮らし快適プロジェクト

数値目標	指標		現状値	実績値			目標値	担当課	
			平成29年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
	三世代ふれあい家族住宅取得支援事業により定住する子世帯数		—	23世帯	39世帯 (令和2年度からの累計)		80世帯 (令和2年度からの累計)	建築課	
①快適で魅力ある都市基盤整備の推進	K P I	指標	現状値	実績値			目標値	担当課	
				平成29年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	錦町土地区画整理事業区域(85.1ha)内の整備面積		50.8ha	54.0ha	55.5ha			56.0ha	区画整理課
	事業名		取り組み内容					担当課	
	具 体 的 事 業	三世代ふれあい家族住宅取得支援事業		平成27年10月に施行した蕨市三世代ふれあい家族住宅取得補助金交付要綱について、令和元年11月に令和5年度末までに延長。令和2年度は23世帯、令和3年度は16世帯へ補助を行った。					建築課
		錦町土地区画整理事業の推進		令和3年度は、家屋移転26戸に加え、路線延長539.8mの街路築造工事や排水路整備工事等を実施。整備面積は、令和2年度に1.3ha、令和3年度に1.5haの整備を行った結果、令和3年度末では55.5haとなった。					区画整理課
中央第一地区まちづくり事業の推進		道路等の地区公共施設の整備を進めており、令和2年度には、区画道路14号を一部拡幅整備し供用を開始した。地区公共施設用地については、令和2年度に2件・約123㎡、令和3年度に1件・約4㎡取得し、令和3年度末時点の取得済面積を約1,108㎡とした。					まちづくり推進室		
都市計画マスタープランの策定		令和元年度に、関係各課へのヒアリングなどを踏まえ、都市づくりの目標及び都市整備分野別方針の案を作成後、都市計画審議会において、意見を聴取。令和2年度は、主に地域別方針について、市民の方との意見交換会や都市計画審議会を開催し、計画案のとりまとめを行った。令和3年度は、6月にパブリックコメントを実施、8月に都市計画審議会を開催し、10月に都市計画マスタープランを策定した。					まちづくり推進室		
②循環型で環境にやさしいまちづくり	K P I	指標	現状値	実績値			目標値	担当課	
				平成29年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	花いっぱい運動を行う公園等の団体数		43団体	41団体	41団体			46団体	安全安心推進課 道路公園課
	事業名		取り組み内容					担当課	
具 体 的 事 業	花いっぱいのまちづくり		令和3年度は、リサイクルフラワーセンターで生育された花苗を公園の自主管理団体等に約29,000鉢配布した。また、例年実施しているエコキャップと花苗交換会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施を見合わせた。					安全安心推進課 道路公園課	
	道路照明灯等のLED化		令和2年度にLED道路照明灯設置調査実施。令和3年度にLED道路照明灯を賃貸借契約し、令和4年2月設置完了済み					道路公園課	



基本目標VI 一人ひとりの心でつなぐ笑顔あふれるまち (6) わがまちわらび！市民が主役プロジェクト

数値目標	指標		現状値		実績値		目標値		担当課
	指標		平成29年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	まちへの愛着（市民意識調査）		68.7%	71.4%	69.5%			75%	政策企画室
①多様な主体との協働による、市民が主役のまちづくり	K P I	指標	現状値	実績値		目標値		担当課	
		指標	平成29年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
		蕨市協働事業提案制度への応募件数	26件（累計）	48件（累計）	54件（累計）			52件（累計）	市民活動推進室
		事業名	取り組み内容						担当課
		協働事業提案制度の活用	<p>令和2年度については、実施予定（令和元年度採択分）の5事業が新型コロナウイルス感染防止対策のため、実施を見合わせ、状況を考慮しながら令和3年度に延期して実施する予定となった。また、令和2年度中に「新型コロナウイルス感染症対策事業」を指定テーマとして、協働提案事業の募集を行い、6事業の応募があり、5事業を採択。</p> <p>令和3年度については、新型コロナウイルス感染防止対策のため、実施を見合わせていた令和元年度採択分の5事業と令和2年度採択分の5事業の計10事業を実施する予定であったが、新型コロナの影響により、うち4事業が辞退となり6事業を実施した。また、募集については、指定テーマの「ウィズコロナ・アフターコロナ期における地域活性化事業」には3事業の応募がそのまま採択され、自由テーマには3事業の応募のうち2事業が採択となり5事業となった。</p> <p>令和3年度までの応募件数は累計54件となり、そのうち41事業が採択。</p>						市民活動推進室
		防災や見守りなど民間団体・企業との連携・協定の促進	<p>令和2年度については、以下のとおり5件の協定を締結した。</p> <p>PayPay株式会社と「キャッシュレス推進に関する包括連携協定」、株式会社ルネサンスと「楽しいいきキッズプロジェクト」の実施に関する協定、京都大学（COI拠点研究推進機構）と株式会社ほっこりーのプラスとの連携協力に関する協定、埼玉県LPガス協会川口支部と災害時におけるLPガスの提供等に関する協定、株式会社イトーヨーカ堂と「災害時における物資供給に関する協定」</p> <p>令和3年度については以下のとおり4件の協定を締結した。</p> <p>株式会社ビバホームと「災害時における防災活動協力に関する協定」、明治安田生命保険相互会社と「包括連携に関する協定」、日本アンテナ株式会社と「ワクチン接種事業連携協力に関する協定」、埼玉県行政書士会と「災害時における被災者支援に関する協定」</p>						安全安心推進課 福祉総務課 介護保険室 関係課
	協定自治体との連携推進	「ふれあい交流協定」を締結している群馬県片品村で収穫された「わらびりんご」を使って、学校給食（わらびりんご蒸しパン）を提供した。また、片品村の道の駅に設置している蕨ブランドブースにおいて商品のPR・販売を行っているほか、同施設でわらびりんごシャーベットを販売していただいたり、双子織の暖簾を掲げていただいたりするなど、地域資源の発信等を通じて連携を促進した。						関係課	
	男女共同参画の推進	令和3年度も、引き続き、男女共同参画に関する啓発事業（男女共同参画作品募集事業、啓発パネル展、啓発紙「パートナー」の発行）を実施。講演会・セミナーについては5件実施した。						市民活動推進室	
②AI等の新たな技術の活用と市民が親しみやすいまちづくり	K P I	指標	現状値	実績値		目標値		担当課	
		AI等の新たな技術を活用した事業数	平成29年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
		※新規事業のため 現状値はありません	1事業	2事業			2事業	政策企画室 情報管理室	
		事業名	取り組み内容						担当課
	多文化共生のまちづくりの推進	多文化共生指針策定に向け、日本人及び外国人に対して市民意識調査や庁内アンケートの実施、多文化共生指針策定庁内連絡会及び多文化共生指針策定に係る市民懇談会を開催したほか、指針策定のための基礎資料の収集及び分析を行い、令和4年3月に「蕨市多文化共生指針」を策定した。今後は、多文化共生のまちづくりを推進するために、庁内の関係部署との連携及び市民との連携・協働により、多文化共生に関わる現状や課題等の共有、各種取り組みの改善等、指針の進捗管理を行う。						市民活動推進室 関係課	
	市民が交流できる新庁舎と駅西口公共公益施設の整備	<p>（新庁舎）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年4月に誰もが利用しやすい庁舎に向けたユニバーサルデザイン計画なども考慮した「新庁舎建設基本設計」を策定し、令和3年2月に「新庁舎建設実施設計概要」を策定。</li> <li>令和3年6月に旧庁舎の解体工事を完了し、7月に新庁舎建設工事に着手するなど、着実に新庁舎建設事業を進めた。</li> <li>窓口案内表示に係るデジタルサイネージなど利便性向上を図る機能の導入について、関係各課と協議を重ね、システム業者にヒアリングを実施した。</li> </ul> <p>（駅西口公共公益施設の整備）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駅西口公共公益施設については、蕨駅西口地区市街地再開発事業における方針として、「図書館」及び「行政センター」の複合施設を整備することが平成30年11月に決定したことを踏まえ、運営形態の検討を進める中で、各種事業者等のヒアリングを実施するなど、情報収集を進めている。</li> </ul>						政策企画室 庁舎建設室 市民課 まちづくり推進室 市立図書館	
	婚活事業への支援	AIによるマッチングや相談員による婚活支援を受けることができる「SAITAMA出会いサポートセンター」について、蕨市民が利用料金の減免を受けることができるよう、令和2年4月に蕨市として会員登録を行うなど利用促進に向けた支援を行った。なお、令和3年末の蕨市民の会員登録者数は男性60人、女性30人、計90人。						政策企画室 関係課	